

# Karen Israelyan

カレン・イスラエリアン / ヴァイオリニスト



1979年11月15日、アルメニア共和国の首都エレバンに生まれる。9歳よりヴァイオリンを始める。

チャイコフスキー高等音楽学校を卒業後、1997年にエレバン国立コムタス音楽大学ヴァイオリン演奏学科へ入学。2002年に優秀な成績で同大学、大学院を卒業。

大学在学中の2000年～2001年には奨学生としてクロアチア共和国内、イーノ・ミルコビッチ音楽院で研修を行う。

2003年～2005年にオーストリア、ウィーン・コンセルヴァトリウムで研鑽を積み、

2004年にはイタリア、ジョバンニ・タレンティ国際音楽コンクール、ヴァイオリン部門にて第二位を獲得。

2005年～2009年、スペイン国内のバルセロナ・リセウ歌劇場オーケストラにアカデミー部員専属ヴァイオリン奏者として勤める。

2009年より東京に拠点を置き、ソロ、室内楽など幅広い分野で活躍中。

現在、洗足音楽大学オーケストラ特別給費研修生として同大学オーケストラ活動に参加している。

今迄にソロ活動の他、ヨーロッパ・フィルハーモニー・オーケストラ、ウィーン青年オーケストラ、オリエント室内楽団のメンバーとして、アルメニア、イタリア、イラン、オーストリア、クロアチア、スイス、スペイン、日本など多くの国々で演奏活動を行う。

これまでに、バクラット・バルタニヤン、ユーリ・カルチンスキー、ドリス・キュシュテンベルガーに師事する。

マスタークラス受講生として、ドーラ・シュワルツベルグに指導を受ける。